

平成27年度新居浜市立図書館協議会 記録

1. 日時：平成28年2月18日（木）15時30分～16時30分
2. 場所：新居浜市立別子銅山記念図書館 第2会議室
3. 出席委員：星川委員、真鍋委員、神野委員、渡邊委員、
古川委員、中本委員、加藤委員、野中委員
4. 欠席委員：尾崎委員、川端委員、内田委員、山内委員
5. 事務局：横井館長、高科副館長、久葉係長、杉田係長
高橋学校教育課長
6. 傍聴者：0名
7. 会議概要

（1）平成27年度事業報告について

（杉田係長） 平成27年度事業報告説明
別紙資料により説明

（2）図書館の運営について

（久葉係長） 平成28年度事業実施説明
別紙資料により説明

（高科副館長） 図書館整備事業、図書館ティールームについて説明
別紙資料により説明

（中本委員）

欠席した内田委員から、「多目的ホールロビーの電気代はどうなっていますか。電気がつけっぱなしでもったいない。ティールームで音楽を流していますが、図書館には音楽はいらないと思います。」との意見を伝えてくださいと頼まれました。

（横井館長）

電気代は、使用面積に応じて応分の負担をしています。音楽は、多目的ホールに聞こえないのを確認して流しています。

（星川委員）

中学校・高校ではどうですか。また、お話しグループの交流会はどうなっていますか。

(久葉係長)

交流会は、実施していきたいと思います。

(高科副館長)

中学校・高校には、就業体験も行っています。

(加藤委員)

県下の主要図書館の蔵書数がわかれば後日でもいいのでお知らせいただけたらと思います。

(高科副館長)

資料が今手元にないので、後日、お知らせします。要覧の25pに全国の類似団体の蔵書数が載っています。

(加藤委員)

学校図書館の充実のために学校司書を増員したということを伺っていますが具体的にはどうのことでしょうか。

(高橋学校教育課長)

学校教育課から説明させていただきます。学校図書館の支援は、学校司書が行っています。平成27年4月1日に、学校教育課内に学校図書館支援センターを設置いたしまして6名から2名増員して8名学校司書がいます。一人が小学校2校を受け持って学校図書館の支援にあたっています。28年度以降につきましても支援を継続してまいりたいと思っています。

(加藤委員)

図書の購入予算は、2千万と伺っていますが、過去何年間かは据え置きなのでしょうか。2千万というのがこの図書館の望ましい数字なのでしょうか。増やしてもらうために要望していく方法について何か計画等あればお聞かせください。

(横井館長)

図書購入費は、若干減っております。来年度の予算要望の段階で、全体を下げてから要望してくれということがあり、全体経費削減で厳しい折、一律の流れの中で若干減ってきているというのが現状です。新居浜市の図書館では、雑誌スポンサー制度等で企業に声をかけて、ご協力いただいております。雑誌の購入につきましては、170誌ほど購入しておりまして、他市に比べても充実していると喜んでいただいております。そうい

ったところは維持していったって、経費を切り詰めることは切り詰めていかなければいけないと認識しております。

(3) その他

(高橋学校教育課長) 新居浜市子ども読書活動推進計画について
別紙資料により説明

(神野委員)

中学校では、学校図書館が充実しているとはいえません。学校司書は、小学校しか配置されていない状況で、中学校はまだまだ時間がかかるということです。教員の方でも図書館の充実にいろいろ工夫をしているのですが人手不足で、実際図書館に生徒が来る時間が少ないという状況があるので頑張っていけないといけないと思っています。

(渡邊委員)

高校では、今年度、新居浜南高等学校が県下の読書指定校になっております。高校は、学校の特徴によって本に親しむ傾向というのがいろいろあります。朝読書を、通年で取り入れている所と、学期によって取り入れているがありますが、こういう機会に子どもが本を手にとれてよかったという声と中止して他の時間に使いたいという声があり難しいところがあります。新居浜西高等学校では、学術書を読む習慣をつけていますが、そうすると個々で文芸等に親しんで、本を読むことで情緒面にゆきとどかない。小中学校に比べて不足するところが大きいと思いますが、子供たちの現状を把握しながら取り組んでいきたいと思っています。

(星川委員)

小学校では、学校司書が週2回、学校図書館や授業に入っていて、精力的にしています。新居浜小学校では、読み聞かせボランティアがいなくて困っています。校区によって非常に格差があります。他の校区の状況がわからない。新居浜市全体でどういったボランティアがいてどういったふうな支援が可能かということをお学校にも情報を流していただき、学校とも連携をとっていただきたい。

(中本委員)

平成25・26年に新居浜小学校に読み聞かせに行っていたんですが、その時に、公民館を通じて、読み聞かせボランティアの育成を働きかけてはどうですか、協力しますのでという提案をさせていただきましたが、うまくいきませんでした。公民館に働きかけるのが一番いいと思います。

(久葉館長)

学校で始める時は、交流会に参加していただいてもいいですし、図書館では、読み聞かせや選書のアドバイスをさせていただきますのでご相談ください。

(中本委員)

内田委員さんから、県立図書館で、やっていた高校生のワークショップが非常に良かったので中学生・高校生を含めてやってほしいということでした。

(古川委員)

夏休みの時期に、読書感想文の書き方、文章の作り方の指導をしていただける講座とかがあれば親子で参加したいと思います。そういう講座を企画していただければ非常に助かると思います。

(横井館長)

昨年、県立図書館で講座をしていましたね。非常にいいことですね。

(古川委員)

郷土の歴史や文学のデジタル化はどうなっていますか。

(高科副館長)

郷土資料のデジタル化ですが、新居浜市史や郷土研究など難点化につきましては、デジタル化して図書館のホームページで公開していますのでご覧になってください。

(古川委員)

残さなければいけないものもあるので長々かかる事業ですね。

(加藤委員)

新刊図書の購入や、リクエストについて困るという案件等はございますか。

(高科副館長)

図書館では、予算の範囲内で、全体的な構成をみながら、いろんなジャンルの本を利用者の要望に応えながら選書しています。類書がある場合にはお断りすることがあります。新居浜市立図書館資料収集要綱に基づいて購入しています。購入できない場合で全国の図書館で、貸出していただけるところがあれば、相互貸借ということで借りて提供しています。絶版やほかの図書館で借りることができない場合は、お断りすることもありますのでご了承ください。

(野中委員)

パソコン関係の本で、新しい本が入るのが非常に遅く、古い本がたくさんあるように感じられます。もっと更新のスピードを速めてもらいたいと思います。

(杉田委員)

新刊が出ると何冊かは、購入していますが、新しい本を借りたい人が多く、すぐに貸出になってしまいます。資料費の関係でたくさんは購入できませんが、利用者の方の要望を考慮しながら、利用が多い本に関しましては購入していきたいと思います。

(野中委員)

できるだけスピードアップしてください。

(横井館長)

パソコン関係の雑誌も入っておりまして、情報としてはそちらの方が早いと思います。

(真鍋委員)

ブックスタートはすごく大事で、小さいときから本を読むということを図書館が中心になって、学校等にも展開していただいています。問題は大人です。全般的に本を読まなくなっています。活字を通して得る情報は大事だと思います。関心を持ってもらうにはどうしたらいいかということで、商工会議所では、セミナーをする時に、図書館に内容に関するブックリストを作成していただいて、受講者の方に資料とあわせてお配りしています。すると本屋に行って買う人もいますが、図書館という選択肢をちゃんと持って図書館を利用してもらう。経営本の新しい本も結構入っています。日曜日や夜も開いているので仕事が終わってから足を運んでもらう。図書館にはいい連携をいただいていると思います。